

# 集中線定規L

集中線よりも背景などのパース作画に特化したモデルです。 利用特許:第5009436号

## 取扱説明書

### 使い方

- 予 集中線を描きたい部分に鉛筆などで消失点(集中線の中心)のあたりを描きます。
- 『ボタン』を「消失点」と「ボタン内の十字線」が重なるように置きます。
  - 『定規板』を『ボタン』にはめます。  
※端(エッジ)のある側を上にして下さい。
  - ボタンを中心に『定規板』を回転(スライド)させて、集中線を描きます。
  - 描き終わったら『定規板』、『ボタン』の順に原稿から外します。
- 後 「予」で入れたあたりを消します。  
※必ず水平な紙面をご利用下さい。  
紙面が凸凹していると、うまく回転できません。

### 製品構成

#### ① ボタン

中心に十字線が印字してあります。



ボタンの裏面は弱粘着性のシールになっています。  
※シール面は透明なフィルムで保護しています。  
使用前にフィルムを剥がして下さい。

#### ② 定規板

『ボタン』にはめて回転させます。

定規の直線部分には端(エッジ)を施しています。

※本製品(集中線)の筆記可能範囲は端(エッジ)のある消失点から20~430mmの範囲です。

### 片付け方

- ボタン** 下面のシール部分をゴミや汚れがつかないようにフィルムシートなどで保護して保管してください。  
※油分がつくと粘着力が低下する場合があります。  
シール面をハンドクリームなどを付けている手では扱わないでください。
- 定規板** 折れ曲がったり折れたりしないよう水平な場所で保管してください。  
定規についた汚れは固く絞ったふきんなどで拭きとってください。  
※アルコールなどでの掃除は変色や変質のおそれがありますのでご注意ください。

### 《ボタンについてのご注意》

- 使い始め(シールの粘着力が強かったら)**  
ボタン下面の弱粘着性のシールは長くお使いいただけるよう使い始めの粘着力がかなり強い仕様になっております。  
使い始めは予め裏紙などで粘着力を試してからお使いください。
- シールの粘着力が落ちてきたら(粘着力が弱かったら)**  
使用を続けていくと、シール面付着した微細なゴミなどにより粘着力が低下し、原稿からはがれやすくなる場合があります。  
粘着力はゴミを取ることで回復します。  
ボタンのシール面が汚れたら水洗いなどで汚れをおとして自然乾燥させて下さい。

### L型の定規板をひっくり返したい場合

本製品はボタンを原稿用紙より左側に置き、定規板を時計回りに回転する配置を基本として制作しています。  
ボタンを右側において、定規板をひっくり返して反時計回りに回転させたい場合は、定規板上面に文具店で市販されている『フローティングディスク』を貼り付け、回転しやすくしてからご利用ください。

### 《タブレットでの使用について》

本製品は紙上での使用を推奨しております。  
タブレットなどで使用する場合は画面を擦らないように、あて紙やフィルムなどで保護してからお使い下さい。  
また、画面上ではボタンが外れにくい場合がございますのでご注意ください。

その他詳しい情報は下記Webページ内で公開しています。

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~mamiyoi/s-finer.html> 要望などがございましたら一報いただければ幸いです。  
本品は断わり無く改修する場合がございます。